

独立行政法人 病院広報誌
国立循環器病研究センター

●年4回発行（季刊誌）
●〒565-8565 大阪府吹田市藤白台5丁目7番1号
●電話：06-6833-5012（代）

こくじゅん通信

2010/11
創刊号

クローズアップ診療科 不整脈科

国立循環器病研究センター理念

私たちは、国民の健康と幸福のため、高度専門医療研究センターとして循環器疾患の究明と制圧に挑みます。

基本方針

- 1 循環器病のモデル医療や世界の先端に立つ高度先駆的医療を提供します。
- 2 透明性が高い倫理性に基づいた安全で質の高い医療を実現します。
- 3 研究所と病院が一体となって循環器病の最先端の研究を推進します。
- 4 循環器病医療にかかわるさまざまな専門家とリーダーを育成します。
- 5 全職員が誇りとやりがいを持って働ける環境づくりを実践します。

【contents】

クローズアップ診療科 不整脈科	01
最新医療情報 小児心臓移植	03
スタッフインタビュー	04
知って得する病気の話① 脳卒中	05
イベント報告①	06
患者さんのご紹介方法について	07
連携医紹介①（医）内科循環器科呼吸器科よしおか医院	07
健康講座①「おくすり手帳」を利用しましょう	08
イベント案内	08

編集後記

国立循環器病研究センター（以下、国循）病院広報誌「こくじゅん通信」が誕生しました。本年4月の独立行政法人化を機に、国循内外の皆様が楽しめる広報誌作りを目指しました。創刊号には、看板診療科の「心臓血管内科」で活躍中の医師、看護師の生の声を、また小児心臓移植に関する最新情報、「脳卒中」についてのアドバイスなども掲載しました。今後も、新しい国循のシンボルとして本広報誌をお届けしてまいりますので、ご期待下さい。

（副院長／編集委員長 峰松 一夫）

次号は1月発行です。

独立行政法人
国立循環器病研究センター

交通アクセス

鉄道利用の場合

- 地下鉄御堂筋線・北大阪急行線千里中央駅から
- 阪急バス粟生団地行 循環器病センター前下車（15分）
- タクシー（3.4km, 10分）
- 阪急電鉄千里線北千里駅から
- 阪急バス粟生団地行 循環器病センター前下車（5分）
- タクシー（1.3km, 3分）
- 徒歩（15分）
- 東海道線・新幹線新大阪駅から
- 地下鉄御堂筋線千里中央行 千里中央駅下車（18分）

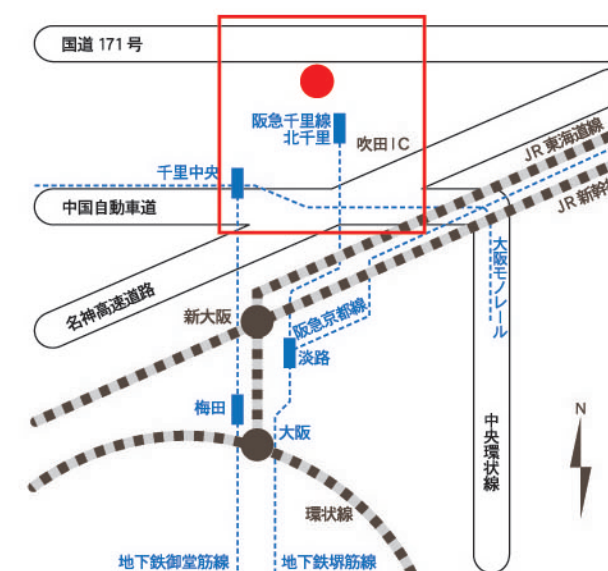
航空機利用の場合

- 大阪国際空港（伊丹）から
- 大阪モノレール 千里中央駅下車（12分）
- 千里中央にて阪急バスに乗り換え 阪急バス粟生団地行 循環器病センター前下車（15分）
- タクシー（20分）

自動車利用の場合

- 名神高速道路沿線から
- 吹田ICより約10分
- 茨木ICより国道171号線今宮を経て約20分
- 近畿自動車道沿線から
- 吹田ICより約10分
- 中国自動車道沿線から
- 中国池田ICより中央環状線千里中央を経て約20分

【お問い合わせ】独立行政法人 国立循環器病研究センター
〒565-8565 大阪府吹田市藤白台5丁目7番1号
国立循環器病研究センター 総務課広報係
TEL：06-6833-5012（代） <http://www.ncvc.go.jp>



クローズアップ診療科

不整脈科

医長 里見 和浩

不整脈は必ずしも命に関わるわけではありません

私達が主に診療しているのは不整脈をもって
いる患者さんです。心臓の病気は何でもそうで
すが、急に症状が起きます。不整脈というの
は頻脈といって脈が速くなったり、逆に遅くな
るものもありますし、そして非常に症状が強い。
ある日、突然まったく前ぶれ無く強い症状が出
て、患者さんは非常にビックリされます。不安
に思って救急車で来られることもあります。私
達はそういう疾患を対象に診療しています。不
整脈は急に変化するため、症状もとても強いので
すが、必ずしも命に関わるわけではありません
。ですからそういうことをきちんと理解して
もらうことで、かなり不安は解消されます。不
安自体が解消されることで患者さんの症状は楽
になり、自分自身の病気を受け止め、うまく向
き合っていくことが出来ます。それが一つの目

んにとって大きなことだと思います。お薬もや
められる、いつ起こるか分からない発作の恐怖
からも逃れられる。そういう意味で、根治治療
が出来ることが大きいと思います。

もちろん常に100%成功するという訳ではあり
ませんが、カテーテル治療をする事で、治すチャ
ンスが患者さんにあるということが非常に大き
なことじゃないかなと思います。

患者さん自身が
納得して治療を受けて
もらえるというのが大事

私には常日頃の診療において大切にしている
事があります。ここまでの話と関わることで
が、患者さんは希望と不安をもって病院に来ら
れている。そういった患者さんに対して、我々
が医師としてどう向き合うか、ただ単にガイド
ラインに沿った治療をやりましょうというの
ではなく、実際にその患者さんが一番何を求め
ているかということが大事なのです。手術をし
ても治したいっていう人もいるし、まあそこま
ではという人もいます。そういう患者さんのニ
ーズを考えて、患者さんに合った治療をするとい
うのを大事にしなくちゃいけない。満足度をど
うやって得られるか、もちろん病気を治すこと
は大事だけれども、それに伴って患者さんが受
けるリスクも当然あるので、そこを患者さんと
しっかり話をして受け入れてもらって、患者さ
ん自身が納得して治療を受けてもらえるとい

心臓血管内科部門は、不整脈科・肺
循環科・心不全科・冠疾患科・血管科、
および心臓血管系集中治療科と6つ
の専門分野が協力して心臓・肺循環・
大動脈・末梢血管の病気に対する治
療と新しい診断法・治療法の開発を
行っています。広報誌第一号のク
ローズアップ診療科には、大所帯で
ある心臓血管内科部門を紹介する魅
けとして不整脈科医長である里見先
生に登場していただきます。

心臓血管内科 医長 野口 暉夫

標です。ただ実際には、急に症状の強い発作が
起こることがあります。そういった症状の強い
患者さんにはお薬の治療やカテーテルの治療で
完全に治せるようになってきました。いわゆる
根治が出来るようになってきたというのが非常
に大きなことです。基本的にはきちんと患者
さんの状態を把握してあげて、「大丈夫です
よ」という安心感を持ってもらい、治療の道
筋をつけてあげるといったことが大事じゃなか
いと思います。先が見えないと不安が大きいで
すが、将来を見通すことができれば不安は弱ま
ります。

救急車で運ばれて来られても即入院しないとい
けない患者さんはそう多くはありません。もち
ろん中には非常に重病な方もいらっしゃいます

のを大事にしています。最近よく患者さんの
自己決定ということがとり立たされたりして
いますが、実際に何も知識の無い患者さんが
それを選ぶことは難しいことです。以前は医
師がこうしなさいという治療を患者さんが一
方的に受け入れていたことによる反省がある
のだと思います。その患者さんの家族の背景、
仕事内容や、社会的な背景の中で、こういっ
た治療をしたほうがいいですよということ
をやっぱり決めてあげないといけないと思い
ます。そんな意味を含めて患者さん自身の持
っている問題点や様々な社会的背景をお聞き
して、治療できるようにしたいと思います。な
かなか難しいことですが・・・

私が診療する事の意味

私は当センターで14年勤務をしておりま
す。私がここで診療する意味、もつと言え
ば使命、そういうとたいそうかもしれない
が、当センターは心臓病を含めた循環器
病の専門の病院ということで、高度な治療
や診療が求められています。なかなか他の
病院では治せなかったような病気を何とか
救ってあげたい。その一方で、今お話し
ように、ただ病気を治すことだけではなく
て患者さんのメンタル面も含めて一人の人
間としてどういうふう健康に生きていく
かっていうことをうまくサポートできるよ
うな医療をしなくてはいけないと思うん
です。専門的な医療だけでは十分ではない

多くの不整脈が完全に
治せるようになってきた

先程お話したように今までは治療はお薬とい
う方法しかなかったんですね。薬の効果とい
うのは100%ではなくて、ある程度発作の回数
は減るけれども時々起こる。完全にはお薬では
治らないこともある。この10年ぐらいのカテ
テル治療の技術とか、その他、様々な器械の
進歩もあって、多くの不整脈が完全に治せるよ
うになってきました。私が2005年から2年ほど
ドイツにカテーテルアブレーションをヨーロ
ッパの中でも積極的に行っている施設に勉強
に行く機会があり、そこで色々と勉強してきた
ことを今実際にこの病院で行っています。病
気を完全に治せるということが、やっぱ

り一番患者さん
思います。そういう中で、新しい治療方法
や技術を色々とこれから開発できればいい
なと思っています。

里見 和浩 医長 プロフィール

最終学歴

- 1994年 3月 山梨医科大学医学部卒業
- 1994年 5月 社会保険中央総合病院内科研修医
- 1996年 5月 国立循環器病センターレジデント(内科心臓部門)
- 1999年 5月 山梨医科大学医学部薬理学教室研究生
- 2000年 5月 国立循環器病センター専門修練医(内科心臓部門)
- 2002年 5月 国立循環器病センター医員(内科心臓部門)
- 2005年 4月 医学博士
- 2005年 10月 Clinical Fellow, ドイツ連邦共和国, ハンブルク, Asklepios Klinik St Georg (Karl-Heinz Kuck 教授)
- 2007年 10月 国立循環器病センター医員(内科心臓部門)
- 2009年 1月 国立循環器病センター医長(内科心臓部門)
- 2010年 4月 国立循環器病研究センター医長(不整脈科)



最新医療情報

小児心臓移植

小児循環器科 医長 山田 修



小児用クリーンルーム。
天井手前側の矩形部分がフィルターを備えた
換気装置となっている。
“くまのプーさん”のキャラクター壁紙を使って
アメニティーを高めている。

現在は体格の小さな小児に使用できる循環補助装置はありません。海外では一般的に使用されている小児用 Excor 等が、日本でも早く認可されることが望まれます。

言うまでもなく当センター研究所人工臓器部でも小児用循環補助装置が開発、改良されています。一方で小児の長期脳死、虐待の点から脳死判定基準の問題もあり、実施まで簡単には進まないと思われませんが、一歩ずつ国内移植の実現に向いつつあります。

新聞などでも報じられたように本年7月17日に改正臓器移植法が施行されました。これに伴い、小児からも臓器提供が可能となり、これまでは国内での移植の対象とならなかった年少患者にも心臓移植が可能となります(これまでもサイズが適合すれば成人から小児への移植は可能でした)。当センターは15歳未満の小児の心臓移植施設として、脳死者から提供された臓器の移植実施施設を決める移植関係学会合同委員会から東京大学病院、大阪大学病院とともに認定されました。

また大阪大学病院と当センターは、心肺同時移植施設にも選ばれました。これを受けて病院を挙げて小児の心臓移植、心肺移植の実施に向けての体制を整えつつあります。その一環として乳幼児病棟、5階東病棟にクリーンルームが設置されました。部屋の中の気圧を外よりも高く保ち常に内から外への空気の流れを作り出して、フィルターを併用することにより清潔な環境を作り出し、移植後の免疫能低下に備えます。

また本年3月には市川小児心臓外科部長、坂口小児科医師がロマリングダ大学メディカルセンターで現地の小児心臓移植の現況を見学してきました。人工心臓を装着し、自宅で移植を待っていらっしゃるお子さんもおられるとのことでした。当センターでも小児心臓移植が実施されるようになれば、待機期間中の機械的補助も必要となります。



スタッフインタビュー



7階東病棟 看護師
菊川 英里

とても高いものを求められている患者さんにも
お応えできるように医師と一緒に頑張っています。

インタビュー よろしくお願ひします。早速ですが、
菊川さんの勤務されている7階東病棟の特色について
教えてくださいませんか？

菊川 7階東病棟は不整脈を専門としています。主に、
カテーテルアブレーション治療や、ペースメーカー・
植え込み型除細動器等の植え込み術、心室細動器療法、
薬物治療等を行っています。

インタビュー アブレーション治療というのはどう
いう治療でしょうか？

菊川 不整脈を根本的に治す方法です。心臓に入れ
た細い管の先から高周波を流して悪いところを焼き、
不整脈の原因をなくしてしまう治療法です。昨年度
は250例ほど行いました。

インタビュー 入院されている患者さんは病状も
様々だと思いますが、こちらでは他の病院から移られ
て来られる患者さんもいらっしゃいますか？

菊川 全国各地の先生方からの御紹介や、他院からの
転院で入院される患者さんが多くいらっしゃいます。

インタビュー 不整脈を専門にされている病院と
いうのは少ないのですか？

菊川 全国的にも増えてきています。その中でも
当院は、重症不整脈の診断・治療を精力的に行い、
国内の指導的役割を担っています。患者さんその
のような医療を求めて来られるので、私たち看護
師もそれにお応えできるように医師と一緒に頑
張っています。

インタビュー こちらで治療を終えて退院される
患者さんへ、退院されたあとの生活面に関しての指
導はどのようなことをされていますか？

菊川 不整脈が根治して帰られる患者さん多いら
っしゃいますが、お薬での治療や、ペースメーカー等
の器械が必要な患者さんも多くいらっしゃいます。
そのため、退院されたあとの生活指導に力を入れて
います。不整脈が再び起こってしまったときの対処
方法や、緊急受診の方法等、患者さんのお気持ちに
添ってご自宅での生活がイメージでき、不安を少し
でも無くして退院していただけるようお手伝いさせ
ていただいています。

次のページへ続く

2010年10月4日(月) 心臓血管集中治療室 (CCU) 新装オープン

国の施設としては最初的心臓内科系集中治療病棟 (CCU) が当センターに設置されてから33年になります。このCCUの機能を大幅に強化し、24時間何時でも高度の緊急診療が可能のように1階部分に8床の新しい病棟を整備しました。またCCU機能を高めるために、心臓内科系病棟の再編整備も合わせて行いました。これによって超急性期あるいは重症化時に医療技術を集中して治療に当たることが可能となりました。



心臓血管外科では、平成7年以降毎年、全国からの医学生を対象に「夏期医学生セミナー」を開催してきました。8月の第一、二週の月々金曜日まで5日間、心臓血管外科に興味を持つ医学生15～20名が当センターに集い、モーニングカンファレンス、ICU回診、手術見学、集中講義、部門カンファレンス、研究所見学、ICU術後管理、などどっぷりと心臓血管外科に浸る企画です。

学生教育への貢献が第一の目的ですが、将来のレジデント勧誘の意味もあります。実際に、これまでセミナー参加者のうちの10名程度が実際にレジデントとして研修を受けており、来年度採用予定者の中にもセミナー参加者が一名含まれています。

今年も猛暑の中、前半8名、後半6名の熱心な医学生が希望に夢膨らませ参加してくれました(写真)。

今年度の特徴として半数以上が女子学生で、ほとんどが心臓血管外科を志望していました。

また、セミナー後のアンケート調査において、参加者の多くが「全員が高いモチベーションを持ち、一生懸命に取り組んでくれる」と好評でした。



最後に、心臓血管外科スタッフ、レジデントのみならず、看護師、臨床工学技士、研究所の方々の本プログラムへの多大なご協力に深謝いたします。

夏期医学生セミナー 心臓血管外科 部長 萩野均

インタビュー では退院されたあと一緒に暮らし
ておられるご家族の方というのも色々不安があると思
いますが、ご家族の方にも色々指導はされていま
すか？

菊川 そうですね。食事内容(例えば塩分制限)、水分
摂取量や、運動負荷について説明させていただいて
ます。また、万が一、何かご自宅で起こったとき、一番近くに
おられるのはご家族なので、救急車の呼び方や、心臓マッ
サージの方法など、対処の方法を実際に体験していただ
いたりしながら分かりやすくお伝えしています。

インタビュー では最後になりますが、不整脈を
患っておられる患者さんへメッセージをお願いします。

菊川 不整脈というものは、人それぞれ感じる症状が
違っているため、それを他の
人に分かってもらうのは大変
難しいです。病院に来られる
までも辛い思いをされたと思
いますし、これからも不整脈
とつきあっているといけないとい
けないということで、患者さん
の不安なお気持ちは計り知れ
ないと思います。そのため、
まずは不安なお気持ちに添
い、ご自分の病気を正しく
知ってうまく付き合ってい
てもらえるようお力添えが出
来るように看護師みんなで頑
張ります。



脳卒中

脳血管内科 部長 豊田 一則

脳卒中は国民病です。患者数の多さや障害の重さ、社会への影響など、あらゆる面で日本人にと
って重大な病気です。ところで脳卒中という言葉に、皆さんはどんな印象を持つでしょう。「怖い病気」、
「治らない病気」、「お年寄りの病気」・・・どの答えも正しくあり、間違っています。最近脳卒中
の話題がよくマスコミに取り上げられていることに、お気づきでしょうか。これらの記事は、脳卒中
が「治る病気」であることを強調しています。近年の治療法の進歩によって、非常に良く回復される
患者さんが少なくありません。しかし、治すためには多くの条件を解決しなければいけません。最大
の条件は、時間の壁でしょう。脳卒中は典型的な「救急疾患」なのです。

脳卒中には、脳の血管が詰まって起こる脳梗塞や、脳の血管が破れて起こる脳出血・くも膜
下出血などがありますが、その症状は似通っています。脳卒中は読んで字の如く、「卒然と中る(あ
たる)」わけですから、つい数分前まで元気にされていた方に、突然症状が現れます。どのよう
な症状が現れるかを、よく知っておいてください。とくに次の五つの症状が、特徴的です。

- 1 片方の手足・顔半分の麻痺・しびれが起こる(手足のみ、顔のみの場合もあります)
- 2 ロレツが回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない
- 3 力はあるのに、立てない、歩けない、フラフラする
- 4 片方の目が見えない、物が二つに見える、視野の半分が欠ける
- 5 経験したことのない激しい頭痛がする



当院は、脳卒中の救急診療に、とくに力を注いでいます。内科と外科で連携して、最良の治療を提供できる
ように努めています。超急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法の開発・応用では国内随一の実績があり、一度
失われた脳機能の回復を目指した再生医療(細胞移植療法)などの先端医療にも積極的に取り組んでいます。

健康講座①

「おくすり手帳」を利用しましょう

国立循環器病研究センター薬剤部

「おくすり手帳」とは？



あなたに処方されたおくすりについて、病院やかかりつけの薬局が、おくすりの名前や飲む量、回数、飲み方、注意点などを記録して情報を共有することを目的としています。

他の病院やかかりつけ薬局などでもらっている薬やいま飲んでいる薬との、重複や飲み合わせをチェックでき、副作用防止に大いに役立ちます。

薬局で市販薬を買うときにも手帳を見せて薬剤師に相談し、買った薬をメモしておきましょう。病院での治療の際に、飲んでいる薬の情報が必要になることがあります。



病院や薬局に行くとき、入院するときには「おくすり手帳」を持参しましょう。

イベント案内

●2010年11月1日(月)
シャトルバス運行

国立循環器病研究センター病院
行き無料直行バスが運行を開始
いたします。

発着駅

阪急

石橋駅 / 北千里駅 / 茨木市駅

大阪モノレール / 北大阪急行

千里中央駅

JR

茨木駅

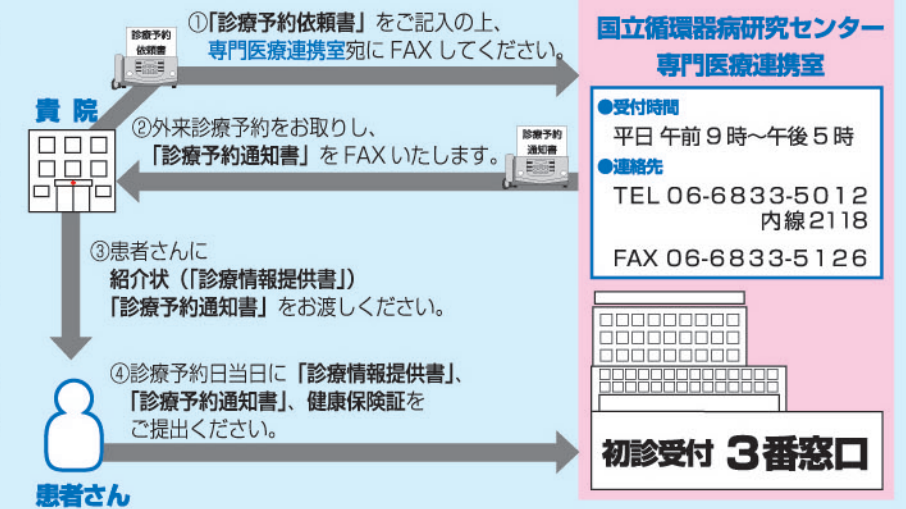
国立循環器病研究センター病院
直行バス時刻表

行先	北千里	北千里	北千里	北千里	北千里
平日	7:55	8:00	8:00	8:10	7:45
平日	8:20	8:25	8:25	8:35	8:10
平日	8:40	8:45	8:45	8:55	8:30
平日	9:00	9:05	9:05	9:15	8:40
平日	9:20	9:25	9:25	9:35	9:00
平日	9:40	9:45	9:45	9:55	9:20
平日	10:00	10:05	10:05	10:15	9:40
平日	10:20	10:25	10:25	10:35	10:00
平日	10:40	10:45	10:45	10:55	10:20
平日	11:00	11:05	11:05	11:15	10:40
平日	11:20	11:25	11:25	11:35	11:00
平日	11:40	11:45	11:45	11:55	11:20
平日	12:00	12:05	12:05	12:15	11:40
平日	12:20	12:25	12:25	12:35	12:00
平日	12:40	12:45	12:45	12:55	12:20
平日	13:00	13:05	13:05	13:15	12:40
平日	13:20	13:25	13:25	13:35	13:00
平日	13:40	13:45	13:45	13:55	13:20
平日	14:00	14:05	14:05	14:15	13:40
平日	14:20	14:25	14:25	14:35	14:00
平日	14:40	14:45	14:45	14:55	14:20
平日	15:00	15:05	15:05	15:15	14:40

患者さんのご紹介方法について

ご紹介いただく患者さんの診療予約を次の手順でお取りします。直接患者さんが、初診受付窓口まで紹介状をお持ちいただいても、受付させていただきますが、事前にご予約をいただければ、診療当日の患者さんの待ち時間が短縮されます。

緊急受診が必要な場合またはご相談が必要な場合は、専門医療連携室に直接お問い合わせ下さい。



●「診療予約依頼書」

当センターのホームページ (<http://www.ncvc.go.jp>) から印刷できますのでご利用ください。

●当センターの初診診療は「初診外来」にて行います。ただし、脳血管外科、小児循環器科、心臓血管外科、周産期科の初診診療につきましては「専門外来」で行います。

●受付時間外に「診療予約依頼書」を受理した場合は、翌日（休診の日は除く）の受付開始（平日午前9時）以降に予約日時等返信させていただきます。

(医) 内科循環器科呼吸器科よしおか医院 / 豊中市

連携医紹介①

千里中央のモノレール駅前の千里朝日阪急ビルにて平成6年から循環器、呼吸器内科を中心に地域医療のお手伝いをしていますよしおか医院です。当院では小規模ではありますが運動療法室を設けて心臓病や糖尿病、高血圧などの患者さんの運動療法も行っており、70～80名の患者さんが運動療法士の指導のもと楽しんで運動をされています。心臓リハビリというほど大きなものではありませんが、運動習慣をつけて元気に過ごしていただき、同じ病気をもった方がお互い仲良く悩みの相談などをされておりますので、そこへ価値を見つけております。興味のある方はご相談ください。



診療科目 / 内科・循環器内科・呼吸器内科
所在地 / 〒560-0082 豊中市新千里東町 1-5-3
千里朝日阪急ビル 3F
電話番号 / 06(6835)1150
診療時間 / 8:30～12:30, 16:00～19:00
休診日 / 木曜、日曜、祝日、土曜午後

※詳細はホームページにて掲載しております。 <http://www.ncvc.go.jp/about/access.html#bus>